

はじめに（この冊子の活用にあたって）

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、子供の基本的な生活習慣や豊かな情操、善悪の判断などの基本的倫理観や自立心などを身につける上で、重要な役割を担うものであります。

県教育委員会では、保護者が家庭教育について、共に気づき、共に考え、共に楽しく学び合うことができるプログラム、「夢実現『親のまなびあい』プログラム」を平成26年に作成し、多くの方々の御理解御協力をいただき開催してきました。

「親のまなびあい」プログラムは4つのテーマのもと16のプログラムから構成されています。

参加者のアンケートから90%以上の肯定的回答が得られています。そのことから、本プログラムの効果などが示されていると思います。

家庭教育支援に携わっている方々が、この冊子に納められている、夢実現「親のまなびあい」プログラムの流れがわかるマニュアルを参考にし、誰でも進行役としてプログラムの開催ができるよう提供しております。

プログラムの流れにつきましては、書かれている内容は基本形であります。プログラム開催の際には、地域の実態や課題に合わせて時間の工夫や内容の工夫を凝らすなど、主体的に簡素化したり応用したりすることも可能です。

本プログラムを活用し、保護者の学ぶ機会が継続的に実施されることにより、学びの必要性、重要性についての認識が深まり、主体的に学ぼうとする保護者が増え、保護者の学ぶ機会や学びの場が広がっていくことを願っています。

開催団体におきましては、本冊子の活動報告、プログラムの流れ等を参考に、主体的なプログラムのファシリテートをして頂ければと思います。

また、家庭教育支援に係る活動を持続的に行っている団体等においては、文部科学省のホームページ、家庭教育支援チームの登録申請をご検討して頂くと幸いです。申請に当たっては、各市町村教育委員会または県教育庁生涯学習振興課（電話：098-866-2746）にお問い合わせください。

なお、本冊子はバインダー形式で、必要ページを取って活用したりコピーしたり、追加で資料を挿入したりと利便性を考慮しております。

市町村教育委員会、学校、地域における家庭教育支援に本書を御活用いただき、「家～なれ～運動」を推進いただければ幸いです。

～ もくじ ～

* はじめに（冊子の活用にあたって）	
* 夢実現「親のまなびあい」プログラムについて	1
1 夢実現「親のまなびあい」プログラム作成について	2
2 夢実現「親のまなびあい」プログラムの概要	
(1) 夢実現「親のまなびあい」プログラムとは	3
(2) 夢実現「親のまなびあい」ミニプログラムとは	4
3 家庭教育支援アドバイザー （ファシリテーター・進行）の役割と心得	5
4 参加者の心得	6
* プログラムの流れ・ワークシート	7
①幼児期の子どもをもつ保護者向け	
【生活習慣】 基本的な生活習慣	8
【学習環境】 読み聞かせ	10
【規範意識・マナー】 あいさつ	12
【体験活動】 親子であそぶ	14
②小学校低学年の子どもをもつ保護者向け	
【生活習慣】 朝ごはん	16
【学習環境】 基本的な学習週間	18
【規範意識・マナー】 家庭内のルール	20
【体験活動】 お手伝い	22
③小学校高学年の子どもをもつ保護者向け	
【生活習慣】 睡眠	24
【学習環境】 家庭学習のルール	26
【規範意識・マナー】 先生や友達との約束	28
【体験活動】 自然体験	30
④中学生・高校生の子どものもつ保護者向け	
【生活習慣】 生活リズムの自己管理	32
【学習環境】 家庭学習の自己管理	34
【規範意識・マナー】 携帯電話・インターネット等	36
【体験活動】 地域活動	38
* アイスブレイク集・アンケート	40